

感染トピックス 2020/11月号

2020/11/11 発行 感染管理委員会

寒さが増して紅葉が進み今年も残り僅かになってしまいました。
これから流行する冬季感染症をどう乗り越えるかが課題です。
今までは、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のことが話題でしたが、
これから流行する感染性胃腸炎 (ノロウイルス) も感染経路はほぼ同じなため、各個人が
対策を理解して実施することがとても重要となります。



インフルエンザ・ノロウイルスの感染経路

インフルエンザ

ノロウイルス



咳・くしゃみ

嘔吐物

便

ウイルスを含む飛沫

物品・環境に
付着したウイルス

・飛沫の吸入、付着
・粘膜曝露

・手で触れた後、経口摂取
・粘膜曝露

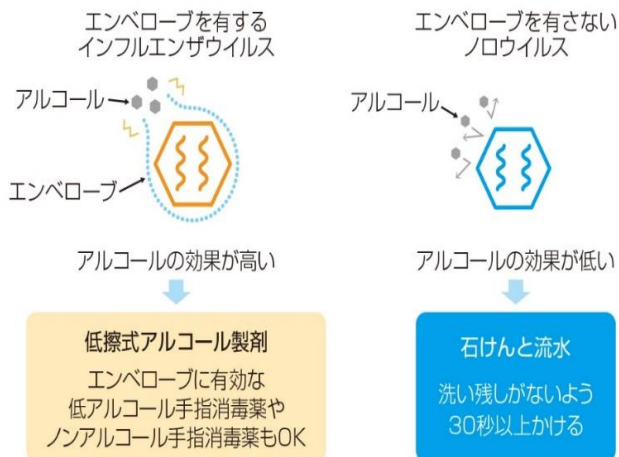
(飛沫・接触)
感染

飛沫感染は、患者のウイルスが含まれる咳やくしゃみ、嘔吐で発生する小さな飛沫を直接吸入あるいは粘膜に曝露することで発症します。

接触感染は、ウイルスを含む飛沫物や嘔吐物、排泄物などで汚染された物品や環境などから手指や物品を介して発症します。よって、これらの感染経路を遮断する対策は、手指衛生・正しい个人防护具の使用・環境清掃です。しかし、下記に示すようにウイルスの構造が違うため、手指衛生の方法が異なってきます。

ウイルスの構造による手指衛生の違い

PPE着脱のワンポイント



PPE着けるときポイント	PPE外すときポイント
マスク ・鼻が出ないよう装着する。 ・顔とマスクの間に隙間ができないよう密着させる。	マスク ・マスク表面に触れないよう、ゴム部分を持って外す。 ・小さく折りたたんだりしない。
ゴーグル、フェイスシールド ・眼を十分に覆うよう装着する。 ・眼鏡は个人防护具の代わりにはならない。	ゴーグル、フェイスシールド ・テンプル部分を持って外す。
ビニールエプロン、長袖ビニールガウン ・白衣や皮膚の露出が少なくなるよう十分に広げて使用する。 ・使用中に紐が解けないようしっかりと結び。	ビニールエプロン、長袖ビニールガウン ・首紐を外し、胸の部分を前に折りたたむ。 ・腰紐を外し、汚染面を内側にして小さくたたむ(体から離して行く)。
手袋 ・自分の手のサイズに合ったものを使用する。 ・手首付近まで覆うように装着する。	手袋 ・片方の手袋を外す。 ・反対の手袋の表面(汚染面)に触れないよう、手首から内側に指を入れ外す。



感染対策に必要な个人防护具は、皮膚や粘膜などが露出しないように十分に覆うことと、脱ぐ際に汚染を広げないように気をつけてください。(方法は感染対策マニュアル参照)

また、汚染された个人防护具で他の患者ケアや環境に触れないようにしましょう。